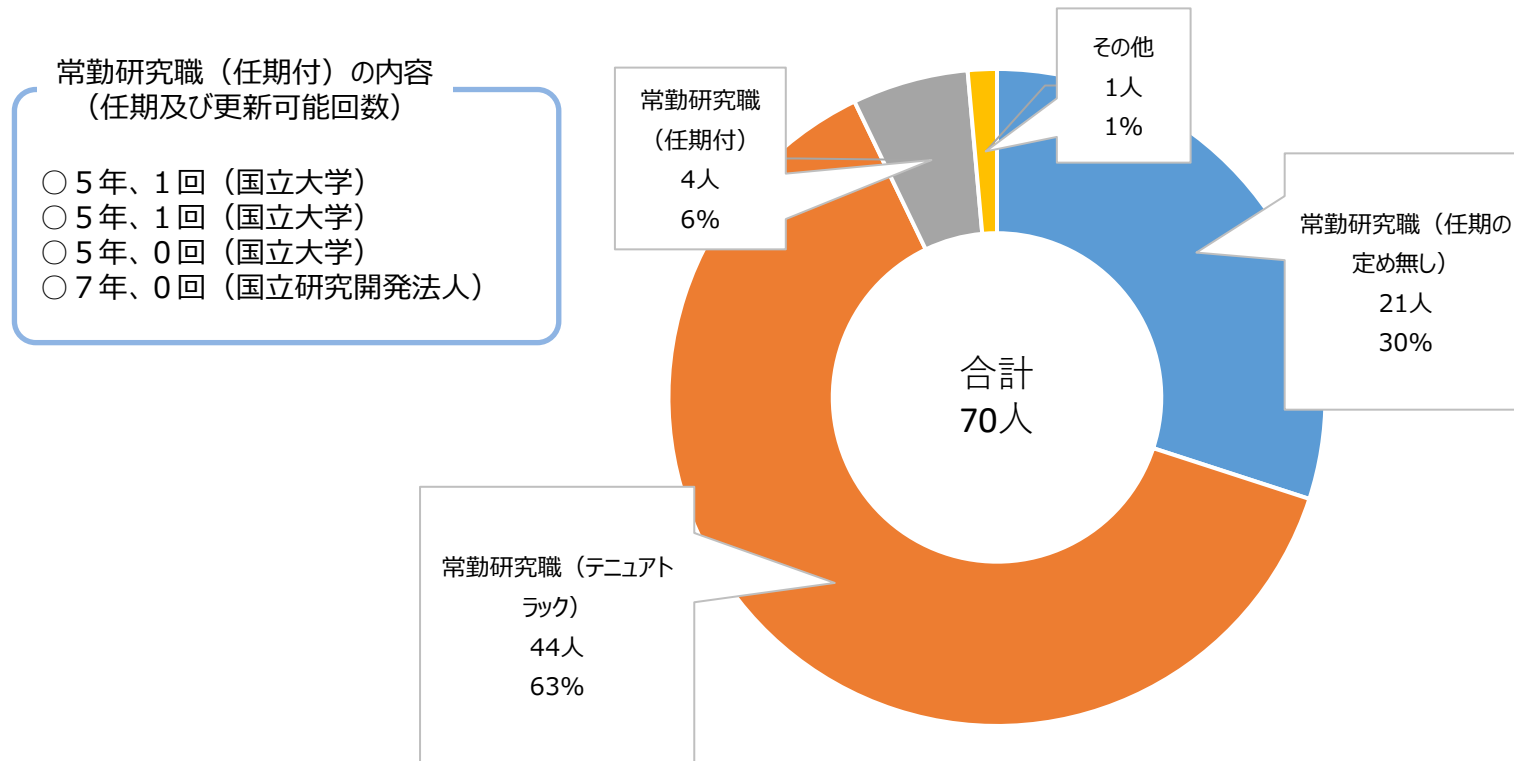


平成29年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について追跡調査を実施

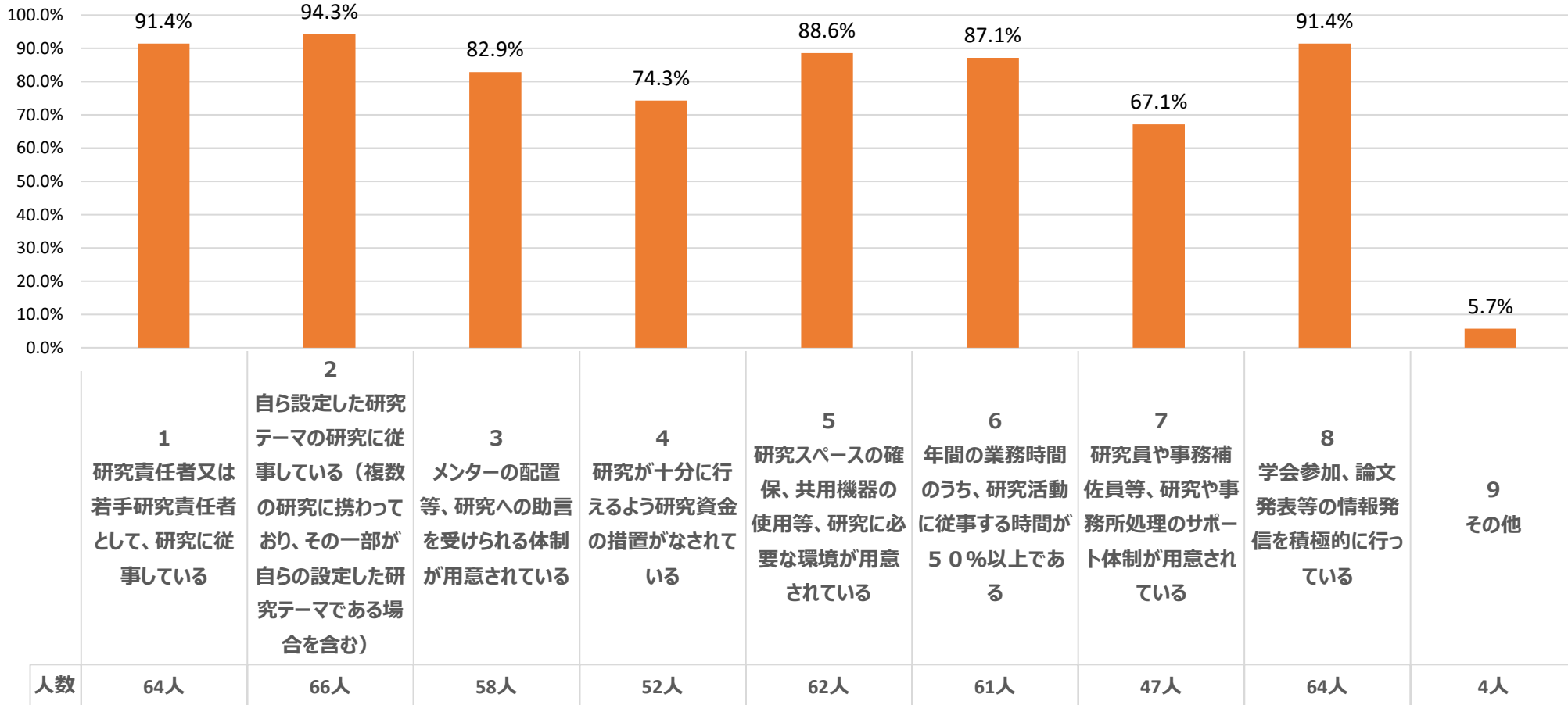
（R2.8実施 対象者数：72名、回答者数：70名（回答率 97%））

○雇用形態について



令和2年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況②）

○研究活動状況について

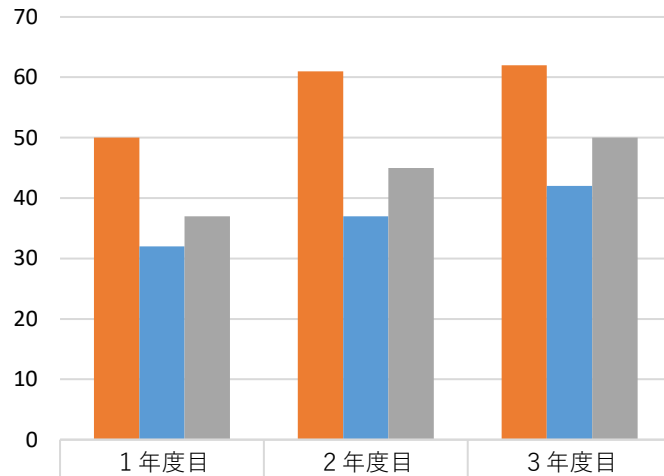


その他の主な内容

○研究経過の産業化に向けて、知的財産の権利化を行っている

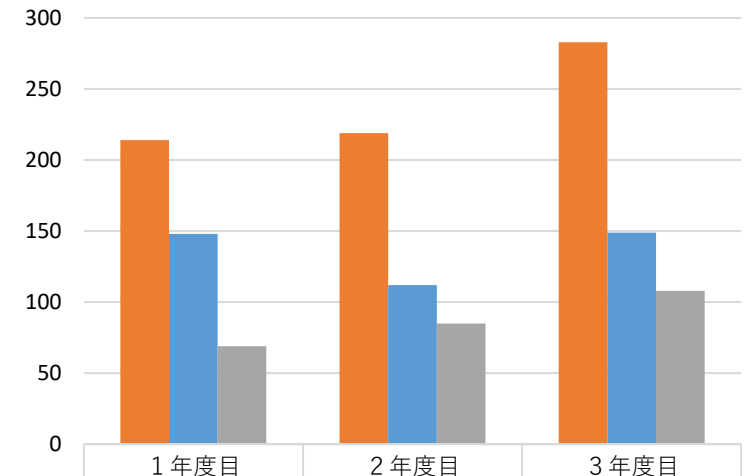
○研究活動実績について（論文発表）

< 論文発表人数 >



論文発表人数（人）	50	61	62
うち、国際共著論文	32	37	42
うち、第一著者・責任著者	37	45	50

< 論文数 >



論文数（件）	214	219	283
うち、国際共著論文	148	112	149
うち、第一著者・責任著者	69	85	108

最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・3年度目）

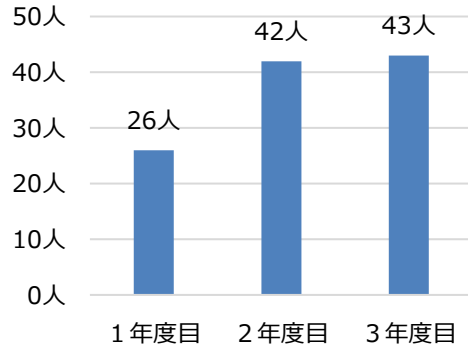
○ACS Catalysis ○AIP Advances ○ApJ ○Appl. Phys. Express ○Atmospheric Environment ○Bioengineering ○BMC Genomics ○Chemical Physics Letters ○Chemical Science ○Compositio Mathematica ○Emerging Infectious Diseases ○Estuarine, Coastal and Shelf Science ○Forum Math. ○Geophysical Research Letters ○IEEE Trans. Biomed. Circuits Syst. ○IEEE Transactions on Circuits and Systems for Video Technology ○IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics(TVCG) ○International Journal of Neural Systems ○J Diabetes Investig ○J. Low Temp. Phys. ○J.Phys. Chem. C ○J. Phys. Soc. Jpn. ○Journal of Applied Physiology ○Journal of Fluid Mechanics ○Journal of Geophysical Research ○Jpn. J. Appl. Phys. ○Molecular and Cellular Proteomics ○Molecular Cell ○New Journal of Chemistry ○Optical Materials Express ○Optics Letters ○Phys. Rev. B ○Physica Status Solidi A: Applications and Materials Science ○Physical Review D ○Physical Review Letters ○Plant and Cell Physiology ○PLOS Computational Biology ○Proceedings of the IEEE International Conference on Micro Electro Mechanical Systems ○Progress in Particle and Nuclear Physics ○Science of the Total Environment ○Scientific Reports ○Sleep ○Smart Materials and Structures ○The Astrophysical Journal ○固体物理 ○社会情報学会 ○土木学会論文集B2（海岸工学）

令和2年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況④）

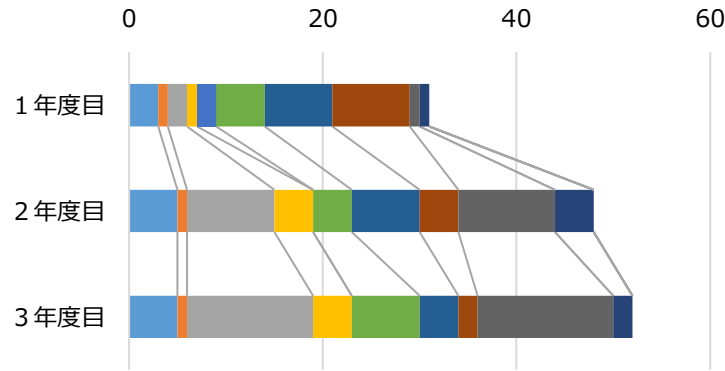
○研究活動実績について（科研費）

※各年度2件まで回答

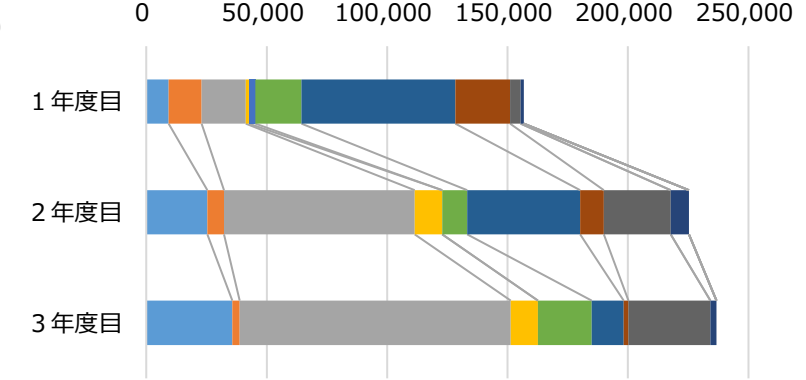
<獲得人数>



<科研費・種目別獲得件数（件）>



<科研費・種目別獲得金額（千円）>



	1年度目	2年度目	3年度目
■新学術領域研究	3	5	5
■基盤研究(A)	1	1	1
■基盤研究(B)	2	9	13
■基盤研究(C)	1	4	4
■挑戦の萌芽研究	2	0	0
■挑戦的研究(萌芽)	5	4	7
■若手研究(A)	7	7	4
■若手研究(B)	8	4	2
■若手研究	1	10	14
■研究活動スタート支援	1	4	2

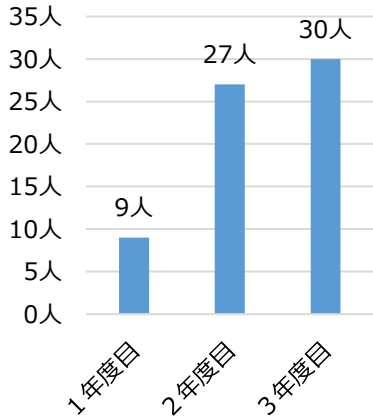
	1年度目	2年度目	3年度目
■新学術領域研究	9,300	25,310	35,700
■基盤研究(A)	13,600	7,000	3,000
■基盤研究(B)	18,450	79,190	112,670
■基盤研究(C)	1,300	11,330	11,230
■挑戦の萌芽研究	2,600	0	0
■挑戦的研究(萌芽)	19,210	10,440	22,370
■若手研究(A)	63,880	46,880	13,290
■若手研究(B)	22,730	9,770	1,940
■若手研究	4,300	27,770	34,084
■研究活動スタート支援	1,430	7,650	2,530

令和2年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

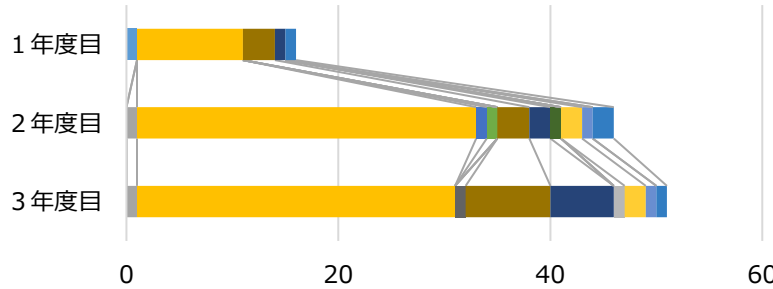
○研究活動実績について（その他外部資金）

※各年度4件まで回答

＜獲得人数＞

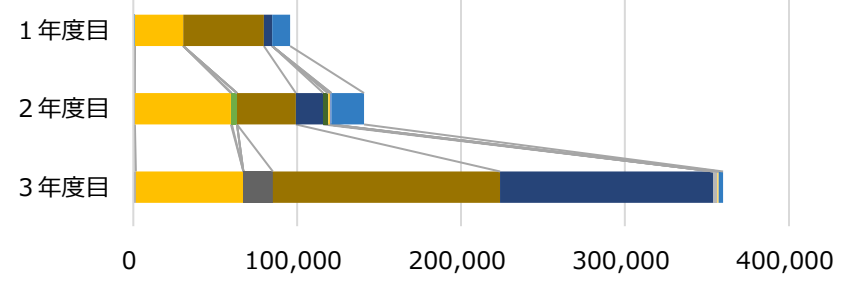


＜助成団体別獲得件数（件）＞



	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	1	0	0
一般財団法人	0	1	1
公益財団法人	10	32	30
公益信託	0	1	0
特定非営利活動法人	0	1	0
独立行政法人（ERCA）	0	0	1
国立研究開発法人（JST）	3	3	8
国立研究開発法人（AMED）	1	2	6
国立研究開発法人（NEDO）	0	1	0
国立研究開発法人（JAXA）	0	0	1
国立大学等（所属大学）	0	2	2
国立大学等（所属外）	0	1	1
その他・不明	1	2	1

＜種目別獲得金額（千円）＞



	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	1,000	0	0
一般財団法人	0	1,000	1,500
公益財団法人	29,380	58,626	65,730
公益信託	0	600	0
特定非営利活動法人	0	3,000	0
独立行政法人（ERCA）	0	0	18,000
国立研究開発法人（JST）	49,250	35,950	138,550
国立研究開発法人（AMED）	5,108	16,768	130,208
国立研究開発法人（NEDO）	0	3,000	0
国立研究開発法人（JAXA）	0	0	2,282
国立大学等（所属大学）	0	1,220	900
国立大学等（所属外）	0	750	150
その他・不明	11,021	19,914	2,500

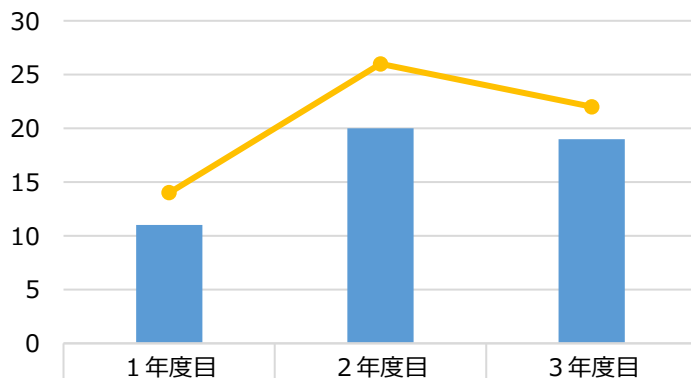
助成団体(3年度目)

- ACT-X ○AMED
- Weec応用生態研究助成
- カシオ科学振興財団・研究助成金 ○ノバルティス科学振興財団 第33回ノバルティス研究奨励金 ○ハーモニック伊藤財団研究助成 ○旭硝子財団助成金 ○稻盛財団研究助成 ○加藤記念バイオサイエンス振興財団研究助成2018年度 ○JST さきがけ ○光科学技術研究振興財団 ○公益財団法人ユニオンツール育英奨学会 ○高橋産業経済研究財団研究助成 ○持田記念医学薬学振興財団研究助成金 ○住友財団基礎科学研究助成 ○上原記念生命科学財団 研究奨励金 ○泉科学技術振興財団 など

○研究活動実績について（その他）

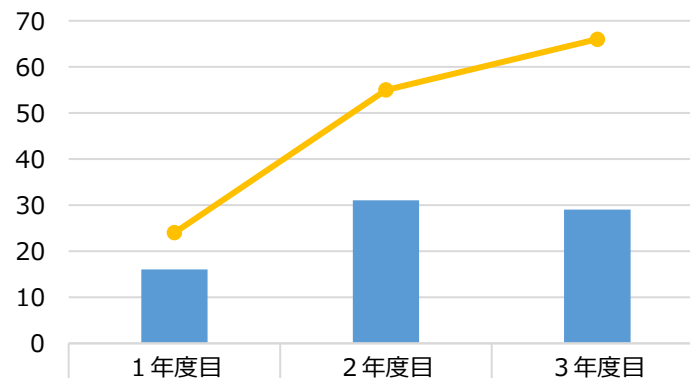
※各年度3件まで回答

<受賞歴>



受賞人数	11	20	19
受賞件数	14	26	22

<国際会議招待講演>



講演人数	16	31	29
講演件数	24	55	66

賞の名称(3年度目)

○APSMBS, IC-LYMS 2019 Oral Presentation Award ○Asian Young Aerosol Scientist Award ○IEEE 30th 2019 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science (From Micro & Nano Scale Systems to Robotics) ○King's STEM Alumni Award ○RIKEN Ohbu Research Incentive Award ○コニカミルタ画像科学奨励賞・奨励賞 ○セルロース学会 奨励賞 ○酵素応用シンポジウム 研究奨励賞 ○人文科学とコンピュータシンポジウム ベストポスター賞 ○先端基礎研究センター長賞 ○第48回免疫学会学術集会 ベストプレゼンテーション賞 ○第66回応用物理学会春季講演会 Poster Award ○日本セラミックス協会 進歩賞 ○日本水環境学会年会学生ポスター発表賞 ○日本数学会賞 建部賢弘特別賞 ○令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 ○第20回東京湾シンポジウム 最優秀ポスター賞 ○土木学会論文集B2（海岸工学） 海岸工学論文賞 など

その他実績

○国際共同研究（2名）
 ○特許出願（10名）
 ○国際ワークショップ等の開催（1名）
 ○書籍出版（8名）
 ○招待講演（3名）
 ○企業との共同研究（2名）
 ○外部との共同研究（4名）
 ○新聞掲載（2名）
 ○JICA国際緊急援助隊感染症対策チーム作業部会員、WHO疫学コンサルタント、厚生労働省新型コロナウイルスクラスター対策班参与を歴任 など

令和2年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況⑦）

○主な意見（改善希望事項等）

	意見分類	主な内容
A	制度改善全般に関すること	<ul style="list-style-type: none">○他機関に所属している卓越研究員との交流機会があるとよい○卓越研究員事業の認知度が低い○卓越研究員の雇用経費は受入機関もちのため、ポスト提示機関が資金を持つ機関に限られている（2件）
B	ポスト・当事者間交渉・採用後の処遇等に関すること	<ul style="list-style-type: none">○受入先機関のテニユアトラック要件が不明確（3件）○マッチングに際して、事前に就労条件や評価基準等についても研究機関情報として開示していただくことが望ましい○受入先機関との研究エフォート・研究環境の整備・予算措置などのすり合わせが難しい○民間企業には独自のルールがあるため、独立した研究を行うのは難しい○受入先機関の設備が整っていない（2件）
C	経費に関すること	<ul style="list-style-type: none">○購入した物品の移設を許可してほしい○着任初年度の予算について、着任時期によっては短期間で使用しなければならず非効率○研究費の支援期間を長くしてほしい（5件）○年度を超えての繰り越しを認めてほしい（2件）○ポスト異動後も援助を継続してほしい